

防災工学

概要	社会基盤施設や地域・都市における災害発生及び防災のための基礎的素養を学び、自学類の学生には主専攻と合わせて幅の広い学識、自学類以外の学生には、他分野で生かせる学識を持つための副専攻である。防災を考えるためには、まず幅広い自然災害の様相を理解することが大切である。とりわけ、わが国では地震による自然災害が最も重要な課題である。そこで、地震災害を理解するために必要となる力学を取り扱う応用振動学を必修科目として課している。その上で、代表的な災害をカバーする各論科目への展開を図り、防災・減災に向けた力学的な方策について学ぶ。また、より行政的・応用的な展開である、防災マネジメントを教授する科目も配置している。
対象	すべての学生(ただし、環境デザイン学類環境・防災コースの学生を除く)
修了要件	必修科目2単位と、選択科目の中から8単位以上を含む合計10単位以上修得すること。

科目名	開講学類	単位数	区分	備考
応用振動学A	環境デザイン学類	1	必修	必修科目2単位と、選択科目の中から8単位以上を含む合計10単位以上修得すること。
応用振動学B		1	必修	
構造・地盤動力学A		1	選択	
構造・地盤動力学B		1	選択	
環境・防災水工学		2	選択	
土木建設防災マネジメントA		1	選択	
土木建設防災マネジメントB		1	選択	
地質学概論		2	選択	
信頼性設計概論		2	選択	
環境地盤工学		2	選択	